

一般用電
気工作物

調査業務実施体制を強化

第19回電気工事業全国大会

業界の構造改革が最大の課題

全日本電気工事業
工業組合連合会 会長 徳住 一郎



第19回電気工事業全国大会の開催にあたり、皆様方にご挨拶を申し上げます。

この全国大会も、今回で19回目を迎えることになりましたが、この間、我が電気工事業界の進むべき道と、

結束を図るたひとつの場として、また各開催地における地域社会の皆様方に我が業界の実情を十分にご理解していただく場として、

大きな足跡を残してまいりましたことは、誠に大きな意義があったものと考えております。

これもひとえに、私たち電気工事業界と密接な関係にあります各界各位のご指導と、多くの諸先輩方並びに全国の所属組合員皆様方の強力なご支援、ご協力の賜と深く感謝を申し上げます。

四国での大会は、平成3年、香川県香川町で開催して以来11年ぶりの開催となります。

この間、日本の社会環境も電気工事業界を取り巻く状況も大きく変わりました。前回の四国大会は、全日

電工連の顧問として30数年にわたりご指導いただき、四国電気工事組合会長でもありました越智伊平先生の陣頭指揮のもとで盛会裡に開催し、大きな成果を残し大変思い出に残る大会となりましたが、その越智伊平先生も黄泉路に旅立たれ、また、昨年1月には、我が業界の中興の祖というべき強力な指導者、米沢外秋前会長を失うという、全日電工連にとっては誠に不幸な出来事が続きました。

また、この間、日本経済もバブル経済が崩壊、現在では、深刻な不況下のもとに推移しておりますが、同時に、新しい日本社会の構造改革に向けて規制緩和が一段と拡大促進され、それに伴って各業界の垣根を越えた競争が進むなど、社会状況は大きく変化しており、厳しい局面にあります。

このような中で、今後の電気工事業界の将来を展望するとき、私たち業界の最大の課題は、電気工事業界の構造改革であります。つまり、電気工事業界と

をとりえた電気設備工事など、新しい電気工事が創出され、そのような技術や設備に対する対応とともに、従来型の公共工事の減少、小口化、あるいは国民生活の多様化、高度化に対応するリニューアル工事など、ストック需要の掘り起こしがより強く求められてまいります。

当然、このような新しい事業に取り組みなければなりません。そのためには、まず、着実に自らの足元を

転換であります。このことは、言葉にするだけで簡単ですが、いざ実行するととなると、幾多の困難なハードルを越えなければならぬ課題があります。

理業務を通じた需要家との信頼関係の構築、さらに提案型技術営業へ向けた動機付けとして開始した「でんき元氣」キャンペーンであります。

傘下の47都道府県電気工事工業組合が国の指定調査機関として認可を受け、一昨年10月以来、全国規模で段階的にこの調査業務に参入

としましたことは、業界の将来展望を図る上で誠に画期的なことでありました。

各業界並びに電力会社のご指導、ご協力をいただきながら、強力に事業を進めてまいりたいと考えております。

次に、規制緩和に伴う電気保安業務への取り組みであります。

一昨年7月、改正電気事業法が施行され、その中で一般用電気工作物の調査等の保安業務について調査機関の規制が緩和されました。

私たちが電気工事業界にもこの調査をはじめ、自家用電

気工作物の電気保安のあり方につきましても、現在、経済産業省の電力安全小委員会で検討されており、私も一委員として参加させていただいておりますが、一段の規制緩和を期待するものであります。

このような環境下にあります我が業界にとりまして、まだまだ解決すべき課題が山積しております。

新しい技術に対応のできる技術者の育成をはじめ、建設業法に基づく施工管理技士の養成拡大、電気工事士法に規定する第一種電気工事士定期講習の法に基づく周知徹底、情報ネットワークの整備拡大、後継者育成、福利厚生事業の中心となる業界年金基金制度の充実など、このほかにも多数の課題を抱えております。

このような山積する課題を解決するためには、所属組合員の一段の結束とともに全国の電気工事業者の結束による組織の強化が強く求められます。

今後、このような諸々の課題に挑戦し、従来にもまして地域社会の皆様方の信頼にお応えできる態勢づくりに努めてまいりますので、各位におかれましては、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

広告スペース

全日電工連

全日本電気工事業
工業組合 連合会

URL
<http://www.znd.or.jp>
E-mail
zennichi@znd.or.jp

全日電工連のホームページがリフレッシュされて、わかりやすく便利になりました。

〒105-0014
東京都港区芝2-9-11
全日電工連会館 1F
TEL 03(5232)5861
FAX 03(5232)6855

広告スペース

四国で語ろう『輝く未来』

11月7日、自然と
歴史の街愛媛県松山市で

愛媛県松山市で開催

全日電工連（徳住 一郎会長）主催、四国電気工事組合連合会（越智 竜一会長）主管により開催される第19回電気工事業全国大会が11月7日（木）、愛媛県松山市内の愛媛県民文化会館において幕を開ける。大会テーマに、『山・川・海・自然あふれる四国で語ろう輝く未来』を掲げ、業界の構造改革を訴えていく。全国各地から大勢の参加者を期待している主管の四国電気工事組合連合会は愛媛全国大会を無事成功させるため万全の体制を持って臨んでいる。

1983年に第1回が開催された電気工事業全国大会は、全日電工連恒例の行事として定着し、今年で第19回を迎える。

同大会は全国所属組合員代表が一堂に会し、組織としての自助努力と結末を図る重要な場として、また電気工事業界における秋の大イベントとして業界内外から注目されている。

今回の愛媛大会は平成3年10月に開催された香川大会以来11年振りの四国での開催となるが、この間日本経済はバブル崩壊を契機に

7県、中部ブロック1県、関西ブロック1府、中国ブロック2県、四国ブロック4県、九州ブロック8県（沖縄含む）においてすでに同業務を開始しているが、各都道府県工組で受託シェア格差や新増設・定期調査比率の偏向などの是正を図り、未実施の工組に対しても各電力会社への働きかけしていく方針であり、本大会は電気保安の更なる推進・確保の観点からも重要な大会となる。

全国各地から大勢の参加者を期待している主管の四国電気工事組合連合会は万全の体制を持って臨んでおり、大会当日は新たな電気工事業界の輝かしい門出の日となることを期待している。

松山市のシンボル、松山城と道後温泉



大会の会場となる愛媛県民文化会館

全国から大勢の
組合員が集結

広告スペース

『山・川・海 自然あふれる』

あらゆる規模と内容に
対応する総合施設

第 19 回電気工事業全国大会

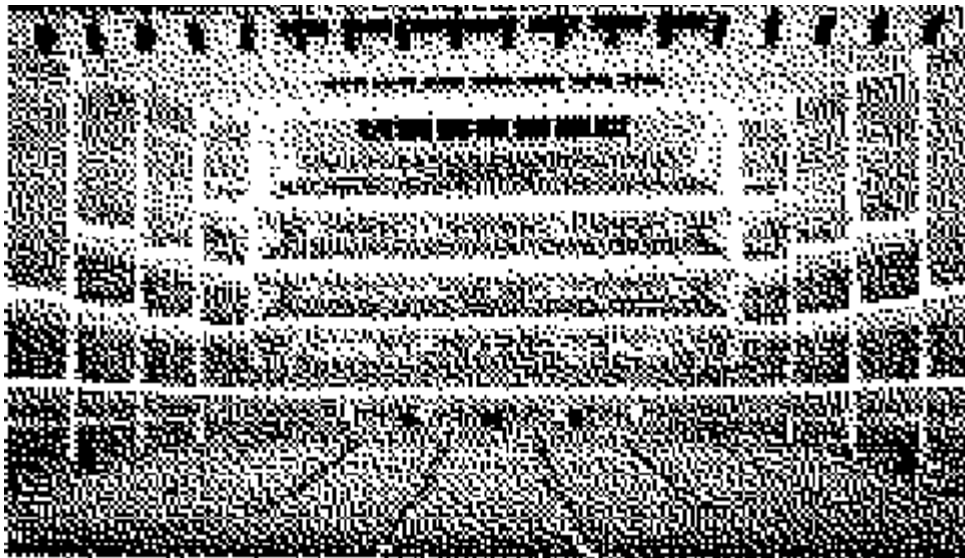
施設概要

会場となる愛媛県民文化会館は、松山空港から車で約 40 分、JR 松山駅から電車やバスで 20 分足らずの距離にあり、豊かな自然と歴史を持つ松山市の北東、松山城と道後温泉の間に位置する。
昭和 61 年に建造された地上 5 階地下 2 階の鉄筋コンクリート造の建物は、メインとサブの大小ホール、多目的スペース、4 ケ国語の同時通訳設備がある特別会議室やテレビ会議室など多数の会議室を備えている。全国大会が開催されるメ

開催日
平成 14 年 11 月 7 日 (木)
開催場所
愛媛県民文化会館 〓 松山市道後町 2 丁目 5 番 1 号
緯 0 8 9 (9 2 3) 5 1 1 1
主催
全日本電気工事業工業組合連合会
主管
四国電気工事組合連合会
大会テーマ
「山・川・海・自然あふれる四国で語ろう供輝く未来橋サブテーマ
信頼関係に基づく需要家の

第 19 回全国大会開催要領

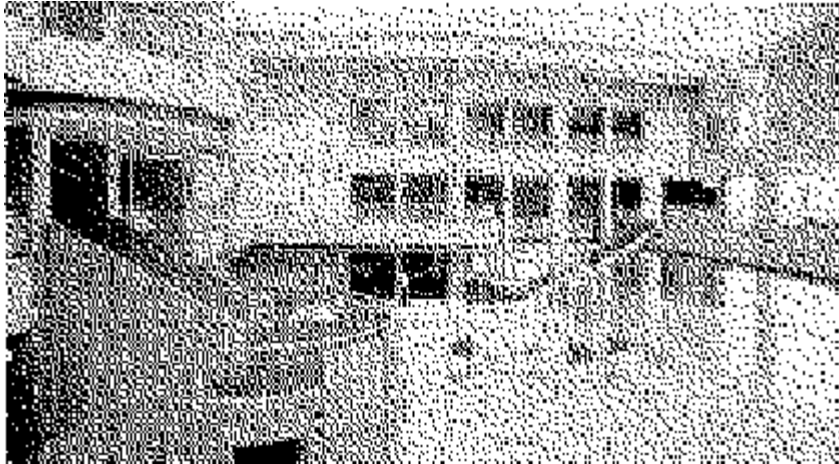
立場に立った提案型技術営業の展開とその条件整備
電気保安分野への組織をあげた取り組みと一段の規制緩和の要請
大会スケジュール
A 記念講演 (13 : 00 ~ 14 : 30)
テーマ『勝者の思考法』
講演者 二宮清純 (スポーツジャーナリスト)
B 大会式典 (14 : 50 ~ 16 : 10)
主催者挨拶
来賓祝辞
来賓紹介
青年部意見発表
大会決議
次回開催地代表者挨拶



3 千人を収容する大会式典会場のメインホール



青年部意見交換会の会場となるサブホール

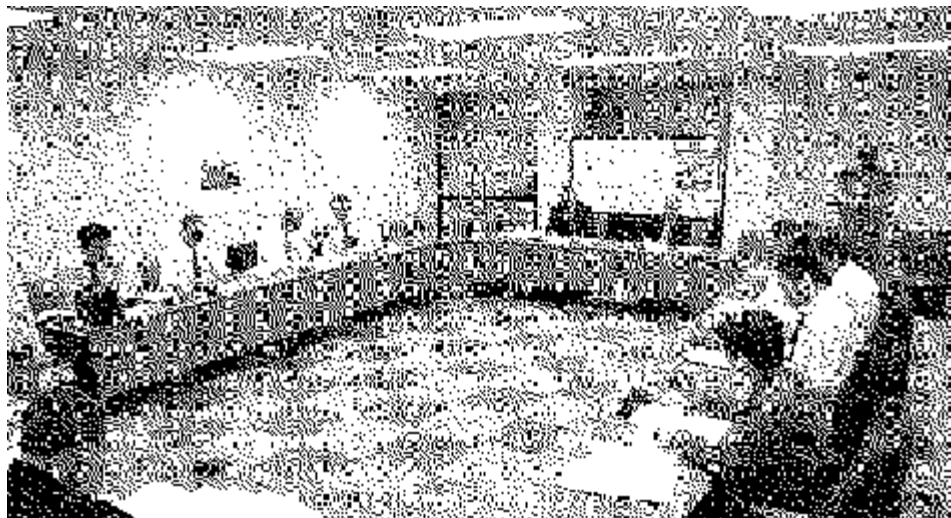


正面ロビーは開放感豊かな憩いのスペース

広告スペース

研修会講師の養成を急ぐ

提案型技術営業へ向けての条件整備



保守管理業務の重要性

第23回新規受託
契約コンクール

の再認識を

今年度目標
17,645 件

全日電工連では、重要事項項目に「一般用電気工作物の保守管理業務」を掲げ、毎年コンクール期間を定め、4ヶ月にわたっていたが、同コンクールは毎年7、8月と1、2月の2期間ることになり、来月12月から第23回一般用電気工作物の保守管理業務新規受託契約拡大に努めてきた。今年度より12月1、2月の1期間3ヶ月に改め実施する。契約コンクールが始まる。件以上の組合で前年度実績に対して10%以上の純増実績を達成した組合について努力賞などがある。

間中に組合100件以上、組合員10件以上対象に新規契約をした合計件数で表彰するコンクール表彰及び年間総件数(更新及新規契約)と年間新規契約件数、さらに受託件数の実績が100件以上の組合で前年度実績に対して10%以上の純増実績を達成した組合について努力賞などがある。

全日電工連では、本年度の目標17、645件を達成すべく保守管理業務発展

のための画期的な突破口に

すべく保守管理業務発展

したいと考えている。



生集め説明会を開いた

業界活性化委員会
研修内容など統一性が重要

全日電工連は10月4日画、雇用高度化委員会から改称した第二回目の業界活性化委員会（藤澤一公委員長）を開催した。

提案型技術営業へ向けて条件整備を推進していく上で、企業規模別を対象を絞り込んでいく方が効果的ではないか。」という意見や、とを混同してしまっている

雇用高度化事業として進められてきた提案型技術営業へ向けての条件整備事業としてあるとの認識を徹底するとともに研修会のプログラムや進行スケジュール、研修

観点から、今後両事業が作成が急務となる。」との意

見が出た。同委員会では、スムーズに同事業を進めていくため、全国各地で今後開催される

雇用高度化事業として進められてきた提案型技術営業へ向けた条件整備事業と『でんき 元気』キャンペーンとを混同してしまっている組合もあるなど両事業の明確な説明が必要であるとい

う観点から、今後両事業が共通の目的を持った事業であるとの認識を徹底するとともに研修会のプログラムや進行スケジュール、研修内容の統一性を持たせるため、標準となるマニュアル

作成が急務となる。」との意見が出た。

同委員会では、スムーズに同事業を進めていくため全国各地で今後開催される研修会の講師を養成してい

研修会講師養成の

ための説明会を開催

統一性を図りさらなる事業の普及促進

全日電工連は10月4日画、提案型技術営業へ向けての条件整備推進事業の一環として、『研修会講師養成のための説明会』を東京・芝の全日電工連会館で開いた。同説明会には、雇用高度化委員会から改称した業界活性化委員会（藤澤一公委員長）の委員ほか、全国各ブロックから選ばれた研修会講師候補者21名も出席。今後提案型技術営業へ向けての条件整備を推進していくための重要性を鑑みでの開催となった。

全日電工連では、同委員会で議題に上った提案型技術営業へ向けての条件整備作りに焦点が偏り非常に取んき元氣「キャンペーン

と雇用高度化事業として進めてきた提案型技術営業へ向けての条件整備事業を混同してしまっている組合もある。などの問題点に早急に対応し、同事業の統一性を図り効率よく推進していくため、研修会の講師を養成していく説明会を開催した。

同説明会は、司会に業界活性化委員会委員の尾池一仁、寺尾三樹男両氏が担当。平成11年度から3ヶ年にわたって全日電工連が実施した「電気工事業産業雇用高度化推進事業」の結果をまとめたテキスト『挑戦！提案型技術営業で収益改善』などを基礎資料に、出席者がそれぞれ発言していく討

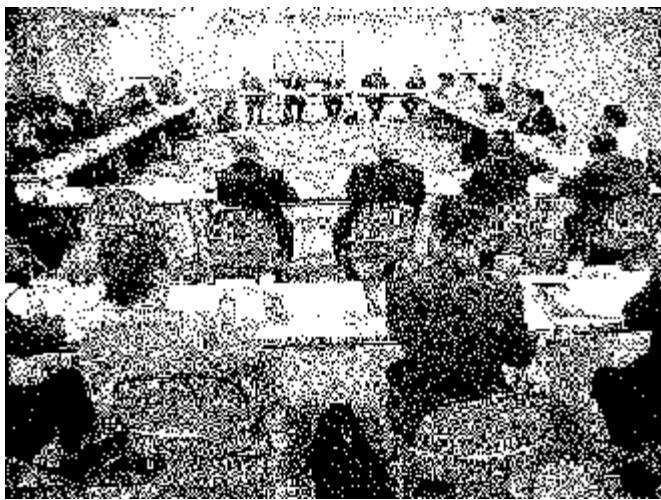
として率先して普及活動に努めて頂けるよう研修をしていきたい。」と同説明会の開催目的を説明した。

また、技術経営委員会が中心となつて昨年9月から実施している『でんき元氣』キャンペーンとの整合性については、「同キャンペーンは提案型技術営業の動機付けとしての一連の事業を実施しているが、同時に条件整備として提案型技術営業のシステム構築が必要である。提案型技術営業は継続性が求められ、生涯顧客をより多く作り信頼関係に基づく提案型技術営業を構築することが最終目的である」との説明があった。

今後全日電工連では、全

論会形式で進行。

司会の尾池氏は、業界活し、各地で提案型技術営業性化委員会のメンバーだけに同推進事業の普及活動に境界がある。皆様には各る事業の普及促進を図つて地における研修会等の講師いく。



全国から研修会講師の候補者を集め説明会を開いた

広告スペース

陸
連
合
会

第9回配電工事安全技能競技会

秋晴れの下 300 名が参加

北陸電気工事組合連合会 工組から外線部門と引込線部門のそれぞれ 3 チームの競技出場者のほか、全ての外線事業所と引込線事業所からの見学者、北陸電力などからの来賓を含め、約 300 名が参加した。

競技内容は、外線工事の部は、ホットスティックを人も含め全員が自社と比較使用した「間接活線工法に

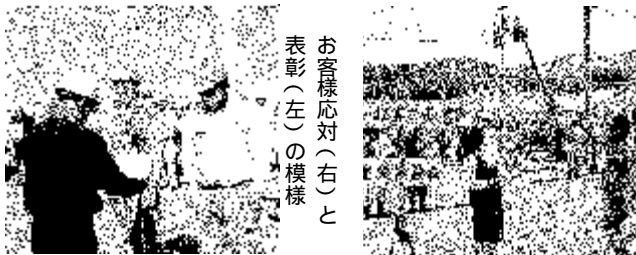
電力株の柳澤取締役営業技術部長は「平成 15 年度から直接活線作業を廃止し、間接活線作業又は停電作業に移行する予定であり、間接活線作業を早く習熟して欲しい」と要望した。

当日は、汗ばむような秋晴れの天気のもと、どのチームも工事前ミーティングやお客さま応対、施工の一連の作業を大きな声で復唱復命しながらてきぱきと進めた。審査は作業安全、工事技能、お客さま応対、作業時間の各項目で行われた。結果は次のとおり。

〔北陸電気連合会長賞〕
外線工事の部 最優秀賞「金津電設(有)(福井)」優秀賞「新座電気工事(株)(石川)」努力賞「北栄電設(株)(富山)」

引込線工事の部 最優秀賞「天谷電気工事(株)(福井)」優秀賞「(有)松井電気商会(富山)」努力賞「(有)北西電気商会(石川)」

〔北陸電力営業技術部長賞〕
外線工事の部 安全優良賞「金津電設(有)(福井)」引込線工事の部 安全優良賞「天谷電気工事(株)(福井)」



小林会長の挨拶
お客様応対(右)と表彰(左)の様子

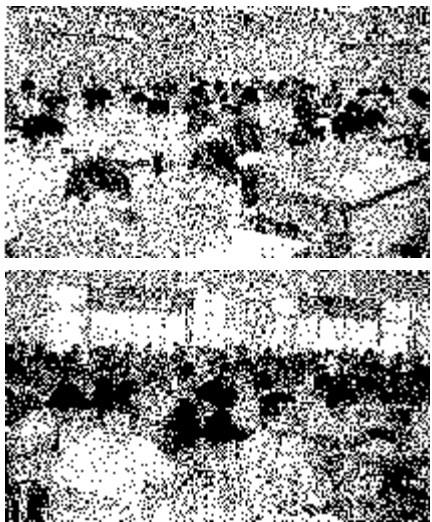
安衛管理講習会開く

県内 7 会場で開催、計 538 名が受講

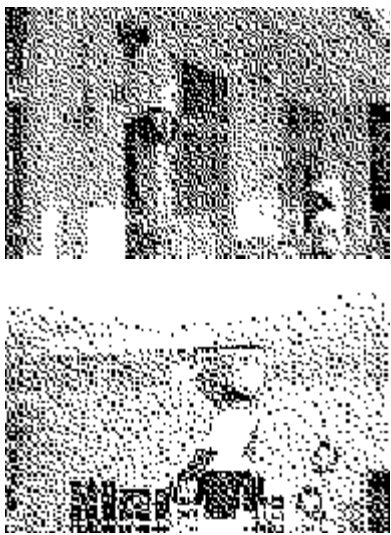
新潟電工組

新潟県電気工事工業組合(小林清吉理事長)は 10 月 2 日我、新潟市上所の新潟ユニゾンプラザで、また長岡市幸町の長岡市立劇場でそれぞれ電気工事安全衛生管理(電気工事作業指揮者)講習会を開催した。

労働安全衛生関係法令においては、電気工事の安全性を確保するため停電作業



長岡会場(上)と新潟会場(下)の様相



同支部ではその活動に室戸市長などから感謝状が授与されている

施設設備の無料点検を実施

高知・室戸

を 実 施

高知県電気工事工業組合室戸支部(小松明生支部長)は電気使用安全月間に併せ、同市の高齢者宅や知的障害者更正施設、むろと、はまゆう園で電気設備の無料点検を行なった。

同支部では昭和 56 年以来約 20 年前から毎年電気使用安全月間の恒例行事として、街路灯や無人集会所、寺院、保育園、老人施設や一人暮らしのお年寄り宅、知的障害者施設などの電気設備チェックをボランティアで実施しており、これまで室戸市長や福祉施設関連から感謝状を授与されている。

当日は、組合員 14 人が四国電力株の協力を得て施設内の設備を点検。古くなつた蛍光灯の交換や清掃を始め、漏電調査、電気抵抗チェック、不良箇所の整備などを行い、利用者に喜ばれていた。

全日電工連協賛



10 月 21 日、全国で街頭 PR 実施

照明関係 4 団体

トブックと省エネ形電球、いる。一般ユーザーを対象にしたアンケート調査を、行事の一環としてポスターの掲示・配布も行われる。

このポスターは、昨年度実施された「第 2 回全国小学生ポスターコンテスト」で最優秀賞に輝いた石川県の小学校 6 年生・大坂希さんの作品をデザインしたもので、電球をハートに図案化したものとなっている。

小学生ポスターコンテストは今年で第 3 回。今年は全国約 250 校から 607 点(昨年は 441 点)の応募があり、「あかり」の大切さをユーモラスに表現した作品が多数寄せられた。今年の最優秀賞には新潟県の小学校 1 年生・永井誠二くんの作品が選ばれた。中央に星、四隅に電球を配したほほえみさを感じさせる絵になっている。その他優秀賞 10 点、入選作品 100 点が選ばれた。

表彰式は、あかりの日」前日の 10 月 20 日、東京・渋谷区の電力館で開催された。

広告スペース

念願の加入者一万名達成！

電気工事業国民年金基金では、平成 3 年 9 月の設立から「加入者一万名」確保を目指し毎年目標数を設定して取り組んできた。電気工事業国民年金基金事務局では、「各都道府県役職員による事業周知の努力が年度ごとの加入促進に繋がっている」と感謝している。

全日本電気工事業国民年金基金の第 23 回理事会及び第 22 回代議員会が 9 月 27 日（金）、東京・港区の全日電工連会館において開催された。会の冒頭挨拶に立った徳住 一郎全日本電気工事業国民年金基金理事長は、平成 3 年 9 月の発足以来、電気工事業界に携わる者に安心して働ける職場を提供するために全日本電気工事業国民年金基金制度は加入者促進に努めてきた。そしてその発足から 11 年目にして遂に悲願であった加入者 1 万名という目標を達成した。しかし、これにとどまることなく、安定した事業運営のためには新規加入者の勧奨が重要であり、引き続き加入促進に取り組んで頂き、更なる事業の発展を願いたい。」と述べた。

引き続き暖かい御支援 お願い致します

電気工事業国民年金基金都道府県別受付状況							
順位	都道府 県名	認可 目標数	平成 13 年度	平成 14 年度 目標数	現在の受付数 4/1 ~ 10/21	平成 14 年度累計	
			迄の受付数			平成 14 年 10 月 21 日現在	
			(A)			(B)	(A + B)
1	石 川	105	319	1	4	323	307.62 %
2	佐 賀	89	266	2	2	268	301.12 %
3	富 山	133	331	2	1	332	249.62 %
4	山 口	60	117	2	1	118	196.67 %
5	鳥 根	24	47	4		47	195.83 %
6	奈 良	89	169	5	2	171	192.13 %
7	福 井	74	141	4		141	190.54 %
8	新 潟	207	334	3	3	337	162.80 %
9	山 形	114	163	3		163	142.98 %
10	岡 山	93	128	5		128	137.63 %
11	宮 崎	137	187	5	1	188	137.23 %
12	三 重	187	246	4	1	247	132.09 %
13	鳥 取	53	70	4		70	132.08 %
14	広 島	128	169	3		169	132.03 %
15	栃 木	196	252	3	1	252	128.57 %
16	秋 田	124	152	2	1	152	122.58 %
17	岐 阜	223	270	4	2	272	121.97 %
18	滋 賀	99	118	3	3	120	121.21 %
19	長 野	120	138	4	3	141	117.50 %
20	和歌山	149	172	5	3	175	117.45 %
21	青 森	137	155	2	1	156	113.87 %
22	北海道	406	459	5		459	113.05 %
23	埼 玉	330	363	5	3	366	110.91 %
24	岩 手	93	97	10	1	98	105.38 %
25	山 梨	103	106	4		106	102.91 %
26	福 島	206	210	3		210	101.94 %
27	鹿児島	202	205	5	3	205	101.49 %
28	愛 媛	206	189	2	5	192	93.20 %
29	宮 城	149	138	10		138	92.62 %
30	長 崎	94	86	8	8	87	92.55 %
31	高 知	125	114	10		114	91.20 %
32	京 都	342	304	5	5	309	90.35 %
33	神奈川	467	410	3	1	411	88.01 %
34	兵 庫	467	401	5	5	406	86.94 %
35	愛 知	417	351	5	4	355	85.13 %
36	静 岡	332	277	5	2	279	84.04 %
37	大 阪	751	618	15	3	621	82.69 %
38	徳 島	173	141	5		141	81.50 %
39	熊 本	180	142	5	3	145	80.56 %
40	香 川	183	143	2	4	147	80.33 %
41	茨 城	250	192	5	3	195	78.00 %
42	大 分	101	76	15	1	77	76.24 %
43	群 馬	240	150	5	9	155	64.58 %
44	千 葉	361	218	5	5	223	61.77 %
45	福 岡	267	144	10		144	53.93 %
46	東 京	1,004	433	10	2	435	43.33 %
47	沖 縄	111	25	10		25	22.52 %
	合 計	10,101	9,936	242	101	10,037	99.13 %

全 日 電 工 連
国民年金基金

加入促進事業に ご協力を！

将来の生活
設計お手伝い



挨拶する徳住理事長



議長を務めた梶田理事



全 8 案の議案を審議する理事および代議員

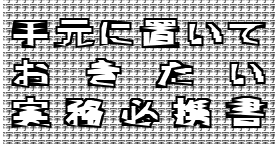


広告スペース

電気工事二法の解説

平成14年版

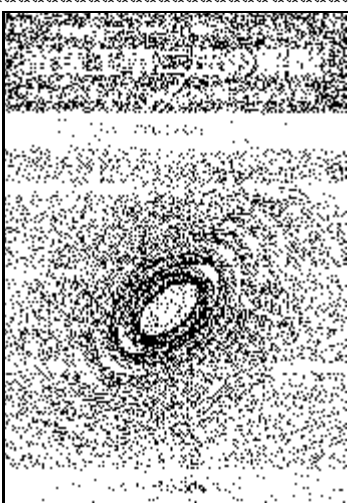
経済産業省原子力安全・保安院電力安全課監修による『電気工事二法の解説(平成14年版)』が、花日本電気協会から出版された。



5月改正分最新版

今回の改訂版は、例えば電気製品販売店との取り合いの多いエアコン用電気工事について、電気

日本電気協会発行



『電気工事二法の解説』経済産業省原子力安全・保安院電力安全課監修。A5判、330頁。定価3,000円(税別)。発行は花日本電気協会。

いる配線器具のひとつであるダブル(2口)コンセントのプラグ差込口の形状を11月11日の2つの「11」でイメージしたため。家庭内やオフィス内での電気使用を支え、使用頻度の高い配線器具・分電盤の役割・重要性を電気を使用する需要に広く再認識してもらい、安心・安全・快適な暮らしのために配線器具や分電盤の定期的チェックを促すのが目的。

日本配線器具工業会

11月11日は配線器具の日
今年で4年目

花日本配線器具工業会は平成11年に、11月11日を配線器具の日と制定しており、今年で4年目を迎える。これは、最も使用されて



「配線器具の日」は、家庭内やオフィス内での電気使用を支え、使用頻度の高い配線器具・分電盤の役割・重要性を電気を使用する需要に広く再認識してもらい、安心・安全・快適な暮らしのために配線器具や分電盤の定期的チェックを促すのが目的。

国土交通省

全体的に振るわず連続減

8月分

建築・住宅着工統計調査

国土交通省総合政策局は、平成14年8月分の建築・住宅着工統計調査報告を発表した。

建築着工統計調査報告。建築物の着工床面積は、1,437万㎡で前年同月比12.1%減(前月は12.6%減)で3ヶ月連続減少した。

公共の建築主は97万㎡(前年同月比38.9%減)で2ヶ月連続の減少。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間非居住用を用途別にみると、店舗は78万㎡(同15.7%増)で1ヶ月連続増加しており依然として好調だが、工場が59万㎡(同39.0%減)と17ヶ月連続減で振るわず、事務所は44万㎡(同33.5%減)で2ヶ月連続、倉庫も46万㎡(同20.4%減)で3ヶ月連続の減少となったため、全体でも減少となった。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

住宅着工統計調査報告。8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅とも減少となったため、全体でも97,653戸(前年同月比6.7%減)で2ヶ月連続の減少となり、着工床面積も8,759千㎡(同3.4%減)と3ヶ月連続減少している。

民間の建築主は、居住用が920万㎡(同7.7%減)で非居住用も420万㎡(同12.2%減)とともに減少しており、全体でも1,340万㎡(同9.2%減)と3ヶ月連続減少している。

11月9日は『換気の日』

花日本電機工業会

全日電工連 後援

(社)日本電機工業会は、換気の重要性を理解してもらつたために、1987年より毎年11月9日(供い空気(換気)の略)を『換気の日』と制定し、それに併せて消費者啓発キャンペーンを実施している。

第16回目となる今年は、『リビング換気を始めましょう』家族の健康も、住まいの健康も、どちらも大切です。をテーマにキャンペーンを展開する。

社会的に室内の空気汚染が問題視されるなか、発生源対策とともに、『換気』は重要なポイントであるという認識のもと、住まいとそこに住まう人にとって不可欠な『換気』の役割を呼び掛けていく。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

ブロードバンド577万加入

インターネット利用状況

DSLは今月にも400万突破の勢い

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

総務省総合通信基盤局は、8月末時点でのインターネット接続サービス加入者は175万8千加入、携帯電話端末による加入者数は5634万加入とともに順調な伸びを示している。

建築・建設分野

最大の展示会

第17回 A/E/C SYSTEMS JAPAN2002

建築・建設分野における国内最大級の総合展示会『A/E/C SYSTEMS JAPAN2002』が10月9日(水)から11日(金)までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。

今年で第17回を迎える同展では、建築建設への挑

戦「新たな時代へ」をメインテーマに関連企業や協会による展示や急速な変化を遂げる社会、経済、技術環境に対応し、業界の最新動向とテクノロジーに関する各種セミナーが開かれた。

建設プロジェクトの企画段階から計画、設計、調達、施工、維持・管理、入札までを支援する各種の情報機器、アプリケーション、サービスが展示し、また会期中に開かれるセミナーでは、まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

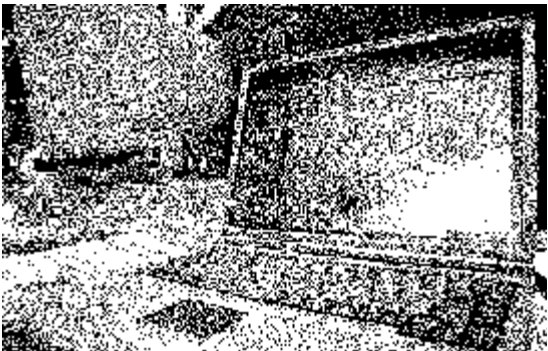
まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。

今年、併設展として地球環境展・建築検証に基づく建築の展示し公開審査する参加型企画展「第3回す

まい・建築・都市の環境展 Eco Build(エコビルド)と幅広い規模の工

三次元CAD、自動積算、電子商取引、ASPサービスなどIT技術の最新動向が紹介された。



3次元CADなどのアプリケーションも展示



会場は業界の最新動向に関心を寄せる来場者であふれていた

広告スペース

広告スペース

身近でできる環境対策

広告スペース

シリーズ

次代を担う われらが青年部

中部電気工事業組合連合会青年部

三重県津市で開催 中部連合会の経営セミナーに参加

中部 5 県から役員及び
青年部代表 120 余名が出席



講演会講師の宮本住職



第二分科会の宮嶋氏



第一分科会の飯田氏



第一分科会(上)と
第二分科会(下)の
意見発表者



青年部会長の島田氏

全国の青年部会員各位
におかれましては、今後
貴務であり、それに伴っ
たテーマを掲げていくこ
とが青年部に課せられた
役割であると実感いたし
ました。

今回の様に連合会並
びに連合会青年部の混成
による分科会発表・意見
交換が連合会役員及び連
合会青年部代表者のご理
解・協力により大成功の
うちに開催出来ましたこ
とを心よりお礼申し上げ
ます。

また、全日電工連と青
年部との組織の在り方に
つきましては、今一度双方
が見直し、より一層の電
氣工事業界の発展を目指
して行くことが重大且つ
責務であり、それに伴っ
たテーマを掲げていくこ
とが青年部に課せられた
役割であると実感いたし
ました。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

意見発表者

敬称略
順不同

第一分科会

第二分科会

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 愛知県代表 | 内藤敏幸 | 愛知県代表 | 児玉昭徳 |
| 岐阜県代表 | 瀬口幹浩 | 岐阜県代表 | 小鷹純一 |
| 三重県代表 | 上田浩市 | 三重県代表 | 森井貞彦 |
| 長野県代表 | 大田敬壹 | 長野県代表 | 横川健太 |
| 静岡県代表 | 遠藤 明 | 静岡県代表 | 植田浩行 |

第一日目

今年で 27 回目の開催に当
たる同セミナーは三重県電
氣工事業組合による会
場設営の下、愛知・岐阜・
三重・長野・静岡の中部 5
県役員及び青年部代表 12
0 余名が出席し、盛大に開
催された。

今回の同セミナーでは、
現在の不況下における電氣
工事業界のあらゆる問題に
対応し解決すべく、連合会
及び連合会青年部による混
成の開催にいたった。

第一日目は、北村昭五同
連合会副会長(長野県工組
理事長)による開会のこと
に続き、加藤金太郎同連
合会会長が「この経営セミ
ナーでは、いつもその時々
に発生した問題や課題につ
いて討論し、不況克服のた
めの何らかのきっかけをつ
かむために開催している。」
と同セミナー開催の意義を
説明したあと、全日電工連
で率先して進めている提案
型技術営業の推進、電氣事
業法改正に伴う定期調査業
務への参入を現在二つの柱
として組合業務を推進して
いるが、そろそろ具体的に
実を一つ一つある。民間、
官庁とハコモノの大きな
仕事が増え、減少するな
か、たとえ小さな仕事を丹
念に請け負っていく意味で
もこうした事業は重要な
と、力強く挨拶を述べた。

引き続き開催された講演
会では、尼寺である閑地蔵
院住職の宮本光順氏が「凛
(りん)として生きる」と
題して自らの半生を振り返
りながら、常識にこだわら
ず自由奔放に生きる「元氣
に生きる」ことの重要性を
臨場感豊かに、また時には
面白可笑しく語り、出席者
一同は熱心に聞き入ってい
た。

第一分科会(座長 飯田
秀爾 三重県電工組常任理
事)では、「組織」今、求
められる組合事業と運営
規制緩和による環境変化
への対応、少子高齢化・環
境問題重視の社会における
電氣工事業 情報ネットワ
ーク構築による組織の活
性を、また、第二分科会
(座長 宮嶋賢一 愛知県電
工組副理事長)では、「経
営」勝ち組になるための経
営戦略・戦術」勝ち組に
なるための経営者の決意
提案営業・新分野進出等
の受注拡大策 原価管理徹底
等のコスト低減策、という
テーマを各々設定し、各県
の青年部役員及び 08 会
員 1 名ずつ計 10 名それぞれ
意見発表をおこない、それ
に基づいて討議を展開した。
いずれも時宜を得た内容
で討議の種は尽きず、2 時
間に及ぶ活発な意見交換が
あった。その後、全体会議
にもどり、分科会の各座長
がそれぞれのまとめを発表
して、同セミナーの日程を
全て終了した。

第二日目

会 科 分 と インターネット をフル活用

第二分科会 まとめ 訪問・開拓 受注拡大

業界発展のテーマを

同連合会青年部の島田勝利会長

今回の様に連合会並
びに連合会青年部の混成
による分科会発表・意見
交換が連合会役員及び連
合会青年部代表者のご理
解・協力により大成功の
うちに開催出来ましたこ
とを心よりお礼申し上げ
ます。

また、全日電工連と青
年部との組織の在り方に
つきましては、今一度双方
が見直し、より一層の電
氣工事業界の発展を目指
して行くことが重大且つ
責務であり、それに伴っ
たテーマを掲げていくこ
とが青年部に課せられた
役割であると実感いたし
ました。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

また、情報ネットワー
クが細部まで構築されればイ
ンターネットをフルに活用
でき、リアルタイムで色々
な情報が得られたり、メー
ル等のやり取りにより組合
の事業活動等に今回の中
部におけるセミナーのよ
うな取り組みを是非、活
発に行なっていたいただ
きたいと存じます。

広告スペース